

# 神田神保町 の本屋

◎梁宗承 编著

一日語阅读百科

◎経済貿易用語 ◎経済のグローバル化 ◎遺伝し組み替え食品 ◎アフリカ体験記 ◎中国が日本を超える日

◎日本語で世界を読む

◎日本語能力試験1・2級実力アップ

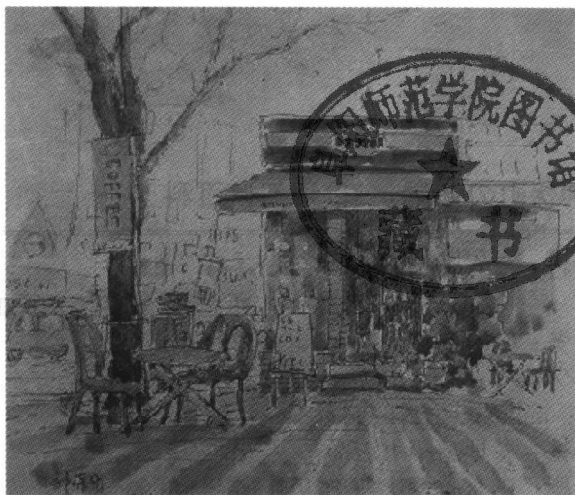
◎日本語文章の書き方を培う



世界图书出版公司

# 神田神保町の本屋

— 日语阅读百科 —



## 神田神保町にて

神田は学生と本の町、昔の古本屋の雰囲気のある町を探したがとうとう見つけられなかった。今も出版社は多いが、ビジネス街の雰囲気が強く漂う街になっている。



世界图书出版公司

广州·上海·西安·北京

---

### 图书在版编目 (CIP) 数据

神田神保町の本屋：日语阅读百科/梁宗承编著.  
广州：广东世界图书出版公司，2005.4

ISBN 7-5062-7465-5

I. 神... II. 梁... III. 日语—语言读物  
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 036080 号

---

### 神田神保町の本屋——日语阅读百科

---

出版发行：广东世界图书出版公司

(广州市新港西路大江冲 25 号 邮编：510300)

销售服务：020-84451969 84453623

http://www.gdst.com.cn

E-mail: pub@gdst.com.cn

经 销：各地新华书店

印 刷：广东省肇庆新华印刷有限公司

版 次：2005 年 6 月第 1 版 2005 年 6 月第 1 次印刷

开 本：800mm×1230mm 1/32

印 张：10.5

印 数：0001~5000 册

书 号：ISBN 7-5062-7465-5/H·0452

出版社注册号：粤 014

定 价：16.80 元

---

# 前 言

目前，在我国的日语学习者当中，有相当一部分人已经掌握基础的日语知识以及词汇量，也就是说，已经具备日语三级的水平。因此，这一部分日语学习者渴望能更大量阅读日语原文，扩大词汇量，进一步增强词汇的应用，提高阅读及写作能力。但目前适合这些学习者的综合日语参考资料尚不多见。为满足这些读者的要求，编写了本书。

本书旨在为读者提供以下三个方面的帮助：

- 1. 日本語で世界を読む：**以日语作为学习工具，扩大阅读量及知识层面，使读者在阅读过程中，自然吸收大量有用的语言材料及知识。书中文章取材于报章、杂志、游记、小说、网上读物等，涉及范围包括文化生活、经济、旅游，都是时下日本甚至我国近年较流行的话题，大部份主题及内容从未在国内出版的其他日语参考书籍中出现。
- 2. 日本語能力試験 1、2 級実力アップ：**本书课文中出现的词汇及语法均根据《日语能力考试出题基准》选定，围绕课文主要内容，备有“练习”，此外，更有“复习”问题，帮助读者思考，加深对词汇的应用。对主要惯用型、拟声拟态词、副词及日常商务用语等，更备有归纳及综合练习。“读解”练习均选取与课文近似的题目。希望读者能通过反复实践来最大限度地强化学习效果，扩大日语词汇量。
- 3. 日本語文章の書き方を培う：**培养学习者使用日语书写各类实用性文章的能力已成为衡量日语的标准之一，本书参考了大量有关日语写作方面的教材和参考书，归纳写作各主要文体的基础

知识，注意事项等，并应用至课文中。通过“目录及学习指引”，读者能简易查阅各文体的写作技巧，并参考有关文例，反复练习，为下一步进行写作实践打下基础。

在编写本书过程中，笔者参考了国内外许多学者的著作及文献，在此谨对所参考的著作和文献的作者以及给予关心鼓励指导帮助的各位老师表示诚挚的感谢。

由于编者水平有限，错误和不当之处在所难免，敬希广大读者不吝指正。

编者 梁宗承  
2005年5月于香港

# 目录及学习指引

	経済、貿易用語	文字、語彙、文法	文章の書き方				レポート報告、評論	頁碼
			論説文、説明文	随筆、紀行文、作文	感想文			
<b>日本社会、文化、生活、環境</b>								
第一課: 文章の書き方と実例							1	
第二課: なじみの屋台の魅力		*		*			13	
▲練習(1)								
第三課: 文豪ヘミングウェイの著作を楽しむ—感想文の書き方		*			*		25	
第四課: マンガキャラクター—永遠の人気		*			*		40	
第五課: インスタントラーメン—レポートの書き方		*				*	51	
▲練習(2)								
▲読解テスト(1)								
▲▲復習(1)								
<b>ミステリ、科学、経済、産業</b>								
第六課: 新エネルギー大量導入は時代の流れだ		*	*				83	
第七課: 遺伝子組み換え食品	*	*	*			*	96	
▲練習(3)								
第八課: クローン命のコピー			*				114	
第九課: 環境開発サミット----南北の対立軸を超えて	*	*				*	121	
第十課: 「メイド・イン・チャイナ」活用せよ	*	*	*			*	128	
▲練習(4)								
137								

▲読解テスト(2)							141
▲▲復習(2)							148
第十一課: 経済のグローバル化 にどう対応したらよいか?	*	*	*			*	152
第十二課: 中国の物流と WTO 加盟	*	*	*			*	161
▲練習(5)							169
▲▲経済 貿易用語の総括							172
第十三課: UFO と隕石衝突		*					190
第十四課: 謎の超古代文明と超 自然現象		*					200
▲練習(6)							209
▲読解テスト(3)							211
▲▲復習(3)							217
▲▲日語似声似态词归纳							218
世界トラベル							
第十五課: 雄大な大地---南 米 —説明文の書き方	*	*	*	*			222
▲練習(7)							256
▲読解テスト(4)							259
▲▲日語主要慣用句型归纳							266
第十六課: アフリカ体験記 —2篇 —紀行文の書き方		*		*			275
第十七課: シベリア鉄道め ぐり		*		*			295
▲練習(8)							306
▲▲復習(4)							309
▲▲副詞の総括							312

## おわりに

※ この本の内容は、私がこれまで目にした内外の資料を参考に、読み物として執筆(しつびつ)しました。参考文献等は執筆後に整理する予定ですが、学術論文ではありませんのでご了承下さい。

※ 今後説明内容を加筆していき、充実したコンテンツにしたいと思います。コメントがある方は是非お聞かせ下さい。[連絡先: jamesleung 2003@hotmail.com]

※ ここでは平易(へいい)な記述(きじゆつ)にすることを優先させましたので、厳密性を欠く箇所もあると思いますがご容赦願うと共に、明らかな誤りがあれば速やかに修正しますので指摘して下さい。



自分の理解を越えるさまざまな生き方や文化を受け入れて、わかろうと努力する、そういう人間にわたしはなりたい。

——宮沢賢治

## 第一課: ●文章の書き方と実例

### 学習要点:

作为本书的第一课，本文要旨是向各位介绍日语写作的基本技巧，并且在随后课文中，列举实例，供课堂及工作上参考。

はじめに.....	1
「作文」と「小論文」はどこが違うか.....	2
文章の構成を考える.....	3
文章の構成法.....	3
主題を明確にしておくことが大切.....	5
材料を整理すること.....	6
ネットで大衆消費社会から脱皮(●小論文の実例 1).....	6
見直される路面電車(●小論文の実例 2).....	8
◆注釈.....	11

### はじめに



日本の企業で新入社員を採用する際には、かならずといっていいほど、「作文試験」あるいは「小論文試験」が行われています。大学や高校の入試でも、作文や小論文を受験科目に設けているところがずいぶん増えてきているようです。それだけ、

文章を書くことの重要性が見直されてきたということでしょう。

## 「作文」と「小論文」はどこが違うか

作文・小論文試験で何を試されるのかを考える前に、「作文と論文」、あるいは「小論文と論文」の違いを整理しておく必要があります。

- ✓ **作文** ---日常生活で体験したことの印象や感想を、私的に、個人的につづった文章。(●実例: テキスト「文豪ヘミングウェイの著作を楽しむー感想文の書き方」、「なじみの屋台の魅力」、「アフリカ・ケリア・キャンプサファリ体験記」)
- ✓ **論文** ---ある事柄(主に社会的問題や科学的問題)について、論理的な筋道(すじみち)を立てて、客観的に書き記した文章。(●実例: テキスト: 「環境開発サミット---南北の対立軸を越えて」、「『メード・イン・チャイナ』活用せよ」、「中国の物流とWTO加盟」、「経済のグローバル化にどう対応したらよいか?」)
- ✓ **小論文** ---800字—1600字程度の短めの、論文・論説。(●実例: 本文「見直される路面電車」、「ネットで大衆消費社会から脱皮」、テキスト: 「遺伝子組み替え食品のゆくえ--環境コミュニケーション構築は可能か?」、「雄大な大地--南米: ブラジル: 『熱帯雨林の現状』」)

つまり、試験科目が、「作文」であるならば、私的でかつ個人的の文章を書かなければならないし、「小論文」であるならば、客観的で論理(ろんり)的な文章を展開することになります。

しかし、実際に各企業や大学が行っている試験を考えた場合、作

文と小論文を区別する基準ははっきりしていません。小論文試験と称していても、「私の価値観」というテーマに代表されるように、私的な意見や感想を求めるものがほとんどです。このような主題(しゅだい)は、本来作文というべきものです。もちろん、客観的で論理的な文章を求める主題もありますが、こういうケースは非常にまれです。専門的な能力を問われる特殊(とくしゅ)な企業や学部、新聞社や出版社などの社会的見識(けんしき)を問われる業界を受験する場合だけです。ただし、私的な意見や感想を述べる場合でも、論理的なものの考え方や客観的なものの見方が要求されます。

## 文章の構成を考える

### 文章の構成法

文章を構成する方法を考えてみると、二つに分けることができます。

**構成法 1: 起承転結型**----文章全体を四つに分ける構成法です。もともと漢詩の絶句(ぜっく)で用いられるもので、文章の構成法として最もポピュラーなものといえます。「起・承・転・結」のそれぞれは、次のように役割(やくわり)を持ちます。(注: 由於“起承转结”的写作结构在一般文章和论文的写作上占了很大的比重, 所以本书中所有小论文均以“起”“承”“转”“结”加以注释, 方便读者了解)

➤ **起**----文章の導入部。読み手の関心を引き、読む意欲(いよく)を

- 起こさせる役割を持つ。<帯出話題，引起读者注意>
- ▶ **承**----具体的な自分の意見や考えを展開する部分。<承接上文，进一步叙述话题的内容，包括逻辑性的推论，举例等方式>
  - ▶ **転**----承とは違う角度から意見や考え方を展開する。実は視点を  
変えて主題に迫る。<改变叙述的方向，或从另一角度分析话题，藉以突出主题>
  - ▶ **結**----全体のまとめ、すっきりと結論づける。<抓住要点作全文总结>

### 構成法2: 序論(じょろん)、本論(ほんろん)、結論(けつろん)型-----

文章全体を三つに分ける方法です。起承転結型の「転」がなくなったもので、序論=起、本論=承、結論=結となります。文章がすっきりまとまるので、主に評論文、社説などに用いられます。(実例: テキスト: 『『メイド・イン・チャイナ』活用せよの特集: 中国とともに働く』)

構成法1と2を比べてみるとすぐにわかると思いますが、これらはまったく別ものではありません。理路整然(りろせいぜん)とした文章を展開したいときや制限字数が少ないときには構成法2を、文章に変化を持たせたいときには(例えば: 論文、小論文、レポートなどを書くとき)構成法1を用いるというくらいに覚えておけばいいでしょう。

「起承転結型」と「序論・本論・結論型」の関係は、下図のとおり。

起	承	転	結
序論	本論		結論

主題を明確にしておくことが大切

文章の構成を考える前に、主題(しゅだい)を明確にしておく必要があります。自分の意見や考え方をうまく相手に伝えることが構成の目的ですから、そのためにはまず、主題を明確にしておく必要があるわけです。

(注意: どんなことを取り上げるか、このどんなことが「話題」です。「主題」とは、対象について、書き手自身がどう考えているか、どう感じているかの中身を指すことです。)

「インターネットの商取引と大衆消費社会の革命」というテーマから連想した事柄のなかから、主題となりそうなものを選んでみます。

- 1) インターネットを用いる商取引によって、個人の消費者に対する細かいサービスが可能になるか?
- 2) 個人的なオンランサービスは便利だが、個人情報を知られるのは、よくない。(批判)
- 3) やっぱり、インターネットの商取引は、従来の大量供給方式を転換する。

だいたいこの三つのことが考えられます。これらの中からどれを

選ぶかは人それぞれですが、なるべく自分に身近(みぢか)なものを主題にしたほうがいいでしょう。

### 材料を整理すること

主題を決めるところまでくれば、なんとなく構成も見えてくるものですが、念のためもう一度材料を整理してみましよう。

- ✓ インターネットの役割: 情報収集(じょうほうしゅうしゅう)は簡単になる。また販売活動の効率性が向上する。個々の消費者に細かいサービスが可能になる。(例を挙げる)
- ✓ 個人的なオンラインサービスの欠点: 個人情報を知られる。消費者がサービス提供者に利用される。(自分の意見を述べる)
- ✓ 大衆消費社会(たいしゅうしょうひしゃかい)の改革: インターネットの商取引は、従来の大量供給方式を転換する。

このように材料を整理し、これをもとに文章の構成を考えてみます。主題は「ネットで大衆消費社会から脱皮(たつび)」にします。

### ネットで大衆消費社会から脱皮(●小論文の実例 1)

野口悠紀雄のぐちゆきお 著『ネットで大衆消費社会から脱皮(たつび)』の要点を抜き出す。2001年1月20日朝日新聞ウイークエンド経済より

起: インターネットサービスは消費者への個別的ターゲティングが可能になる。

**承:** インターネットを用いれば、情報収集は簡単になる。無駄なセールスがなくなり、消費者が購入したいものを示すことができるから、販売活動の効率性は飛躍的に向上するが、個人情報を知られるのを、あまり心地よく感じない。消費者が利用される可能性がある。

**転:** 一方、インターネットを用いる商取引は、従来の大量・一律供給方式を大転換させる潜在力をも持っている。これまでは生産がなされていなかった商品の生産を実現する可能性がある。(例を挙げる)

**結:** インターネットを用いる商取引は、大衆消費社会からの脱皮を可能とする。

**(起)** インターネットを用いる商取引の特徴として、「消費者への個別的ターゲティングが可能になる」と指摘される。

**(承)** 消費者の個別情報を集めることはこれまで容易でなかったため、供給者は消費者を一律(いちりつ)に扱うことしかできなかった。しかし、インターネットを用いれば、情報収集は簡単になる。それを用いて消費者に個別対応(こべつたいおう)をすれば、無駄なセールスがなくなり、消費者が購入したいものを示すことができるから、販売活動の効率性は飛躍的(ひやくてき)に向上するというわけだ。

これによって、個々(ここ)の消費者に対する「きめ細かいサービスが可能になる」との意見がある。実際、オンライン書店などが、そうしたサービスをすでに行っている(過去の購入記録の分析からどのようなカテゴリーの書籍に興味があるかを見出し、その分野の新刊書(しんかんしょ)を紹介する)。また、オンラインバンクの取引記録から家計の生活環境を把握(はあく)できれば、ライフサイクルに応じたセールスが可能になるとの指摘もある。

こうしたサービスを便利と考える人も多いようだ。しかし、筆者は、個人情報を知られるのを、あまり心地よく感じない。社会全体から見れば、これは少数意見かもしれない。しかし、筆者の周りには、そう考える人が多い。

それに、このようなサービスは、セールスの効率化という効果しかもたない。消費者の側から見て、これまでは入手できなかった商品やサービスが入手(にゆうしゆ)できることにはならないのだ。「消費者志向が高まる」というが、実際は、消費者が利用されるだけのことである。

**(転)** しかし、インターネットを用いる商取引は、従来の大量・一律供給方式を大転換させる潜在力をも持っている。例えば、市場規模が小さいために、あるいは、潜在的な需要はあっても消費者が地域的に分散していたり選好(えりごのみ)を表明する手段をもたないために、これまでは生産がなされていなかった商品の生産を実現する可能性がある。分散している消費者をインターネットが結びつけて需要を顕在化し、それを生産者に伝えることができるからだ。

これは、製造業の製品に限ったことではない。絶版(ぜつぱん)になった書籍のオンデマンド出版も、その一例と考えることができる。さらに、特定の商品やサービスに対する需要を持つ消費者がインターネットで集まり、供給者に働きかけることもできる。例えば、普段は演奏(えんそう)されない曲の演奏会や、あまり上映(じょうえい)されない映画の映写会などである。

**(結)** こうした動きは、大衆消費社会からの脱皮を可能とするだろう。それは、一種の革命だ。筆者がインターネット商取引に期待するのは、このような意味での消費者の立場の向上である。

### 見直される路面電車(●小論文の事例 2)

**起** かつては日本全国の主要都市を走っていた路面電車ですが、車社会が進むとともに道路から追われ、道路交通の妨げになるなどの理由から次々に廃止(はいし)されていきました。しかし、最近、再評価の声も出